

◇ 『目から入る情報と耳から入る情報は 7 対 3 』

理事 木田洋一

先日、ある大手ディスプレイ会社から、「力を入れていたコンペで 3 つも負けてしまったが、提案した仕事の中身は負けていないはず。原因はプレゼンのやり方にあると思うので、プレゼンの講習をしてもらえないか」という依頼がありました。

当機構のアドバイザーでもある加藤元アナウンサーと二人、私が見せ方担当、加藤さんがしゃべり方担当としてアドバイスすることにし、まずは、実際にやった（負けてしまった）プレゼンを実演してもらい、みんなの前でアドバイスすることにしました。

パワーポイントを使って 20 分の持ち時間を 3 人が分担して説明したのを聞きましたが、言いたいことを出来るだけ多く入れようと詰め込み過ぎで、しゃべりも強調すべきところに余裕がなく、間の取り方、声のトーンなどに無理があると加藤さんがアドバイスしました。私は、しゃべる技術はもちろん大事だが、もっとこの案件についての思いを自然体で伝えた方がいいと話しました。

それと、発注側に事前に A3 の紙で提出した詳細な資料をほぼそのままパワーポイントの画面に出しているが、今どこを説明しているのかよく分からない状態で、もっと今、言葉で説明している「伝えたいことを強調する」ために、画面から他の情報を除くようにアドバイスしました。

つまり、「捨てる勇気」をもって今話していることが分ることで、映像と説明がリンクし気持ちよく聞き手の耳に入ってくるということです。

加藤さんも「目から入る情報と耳で入る情報では 7 対 3 で目から入る情報が強い」と映像情報の重要性をアドバイスしました。

ながら視聴がほとんどで中々しっかりと見てもらえないテレビの番組は、いかに「今、伝えたいことを見せる」ために色んな工夫をしています。こうした工夫も含めみなさんに「耳から入る情報と映像情報について」いずれ説明したいと思います。

◇ 『デジタルにチャレンジしよう』

代表理事 竹原信夫

◎ トシだからアカン

定期的に整骨院さんで身体のメンテナンスをしてもらっています。膝や腰に痛みが出たり、これまでできていたことが、段々できなくなってきたりします。

ついつい、トシだからあきませんな、と愚痴をこぼします。すると先生がすかさず、「いやいやおトシ関係ないよ。もっとお年寄りでも元気にされていますよ」と、言われてしまいます。

◎ 凄い女性に出会う

確かにその通りです。ボクの先輩でも、ピンピンされておられる方、たくさんいます。トシのせいにするだけで、妙な納得感が得られるだけの話です。

トシだからという言葉は、出来るだけ使わないようにしようと思っています。先日は、このトシだからという言葉で、はねつける凄い女性に出会いました。

### ◎デジタルの国の推進メンバー

おんトシ 86 歳の女性です。何が凄いかというと、デジタルの国の推進メンバーになっておられた方でした。

先日も官邸で開かれた岸田首相主催の『デジタル田園都市国家構想実現会議』メンバーとして参加されました。失礼ですが、86 歳のおばあちゃんですよ。

### ◎岸田首相から名刺交換

「岸田首相から名刺交換に来ていただき、誰一人残さないでやって欲しいと言われていました」と、おっしゃいます。86 歳でデジタルの達人だそうです。  
年寄りだからデジタルは出来ません。この女性の前ではそんな言葉は吐けません。

### ◎81 歳でアプリを開発、

81 歳で iPhone 用アプリを開発、Apple Store で配信。その実績が認められ、アップルが開催する世界開発会議「WWDC2017」に招待され、世界最高齢のアプリ開発者と紹介されました。高校卒業後、銀行に就職されました。「私は不器用で仕事が遅かったのです。そこへ電算機が入ってきました。そしてコンピュータの世界となり、助けてもらいました」と、振り返られます。

### ◎コンピュータが一番の恩人

コンピュータが私にとって一番の恩人と、おっしゃいます。そこからシニアが集まった電子掲示板などに参加、デジタルと親しまれて行きました。  
昨年コロナ禍でも、「以前からオンラインで交流していましたので、あまり影響はありませんでした」と、話されます。逆のデジタル化で 86 歳のデジタルおばあちゃんが脚光を浴びることに。

### ◎にわか有名人に

今では、牧島デジタル大臣主催の『デジタル社会構想会議』や総務省の『デジタル活用支援アドバイザーボード』のメンバーでもあります。「にわか有名人になってしまいました」と笑われます。  
86 歳なら、介護施設などに入っておられる方も普通におられます。でも、この女性は今も第一線で活躍されているのです。それも、最先端のデジタル分野で活躍されているのです。

### ◎高齢者がやらないと

日本のデジタル化は、世界でも遅れていると言われていています。「高齢者がやらないと進みませんね」と言われます。ボクもトシだからと避けていたデジタルに、もっとチャレンジしないとけないと思いました。